

2021 年 6 月 30 日

実践女子大学・実践女子大学短期大学部

教員研修 成果報告書（Web 公開用）

1. 所属	人間社会学部 人間社会学科
2. 職名・氏名	准教授 ・ 山根 純佳
3. 研修期間	2020 年 4 月 1 日 ～ 2021 年 3 月 31 日
4. 研修先機関（国名）	お茶の水女子大学 ジェンダー研究所 （当初渡航予定先はイギリス オックスフォード 大学）
5. 研修課題名	日本のケアの市場化と介護労働へのインパクト
6. 研修経過 （月単位で記載してください） 例）4 月上旬～5 月下旬：	4 月～8 月 オックスフォード大学での研修を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大のためイギリスへの渡航を 9 月に延期し、自宅で研究活動をおこなう。 9 月～10 月 イギリスへの渡航を断念し、日本国内で新たな受入先を探す。その間、自宅にて研究活動をつづけた。 11 月～3 月 お茶の水女子大学ジェンダー研究所申琪榮先生のもとで研究活動をおこなう。3 月には研究協力員研究会にて報告をおこなった。
7. 本研修で得られた成果等（論文・学会発表含む）	Yamane, Sumika, 2021, “Gender equality, paid and unpaid care and domestic work: Disadvantages of state-supported marketization of care and domestic work,” <i>The Japanese Political Economy</i> , 47: 山根純佳, 2020, 「ケアの市場化とジェンダー——介護現場における男性活躍」国際ジェンダー学会2020年大会 個人報告 和洋女子大学 2020年9月13日 山根純佳, 2021, 「ケア・家事労働の市場化はジェンダー平等を実現するか」2021年3月11日 お茶の水女子大学ジェンダー研究所 研究協力員研究会 山根純佳, 2021 「書評 エリザベス・ブレイク著『最小の結婚』（白澤社）」『福祉社会学研究』18 号
8. 所感	新型コロナウイルス感染拡大のため、当初予定していたイギリスでの研修は実現できず、また日本国内においても聞き取り調査等の実施は不可能な状況であった。しかし実践女子大学図書館のデータベース欧文献レンタルサービス「DeepDyve」の提供等により、資料を入手することができ、研究テーマにかかわる研究の動向をまとめることができた。またすでに公開されている上記の論文の他に、論文 1 本、教科書の執筆 1 章をおこなうことができた。 1 年間の貴重な研究時間をいただけたことに感謝したい。今後の研究・教育活動の発展に活かしていきたい。